

とちぎ

県民だより

9

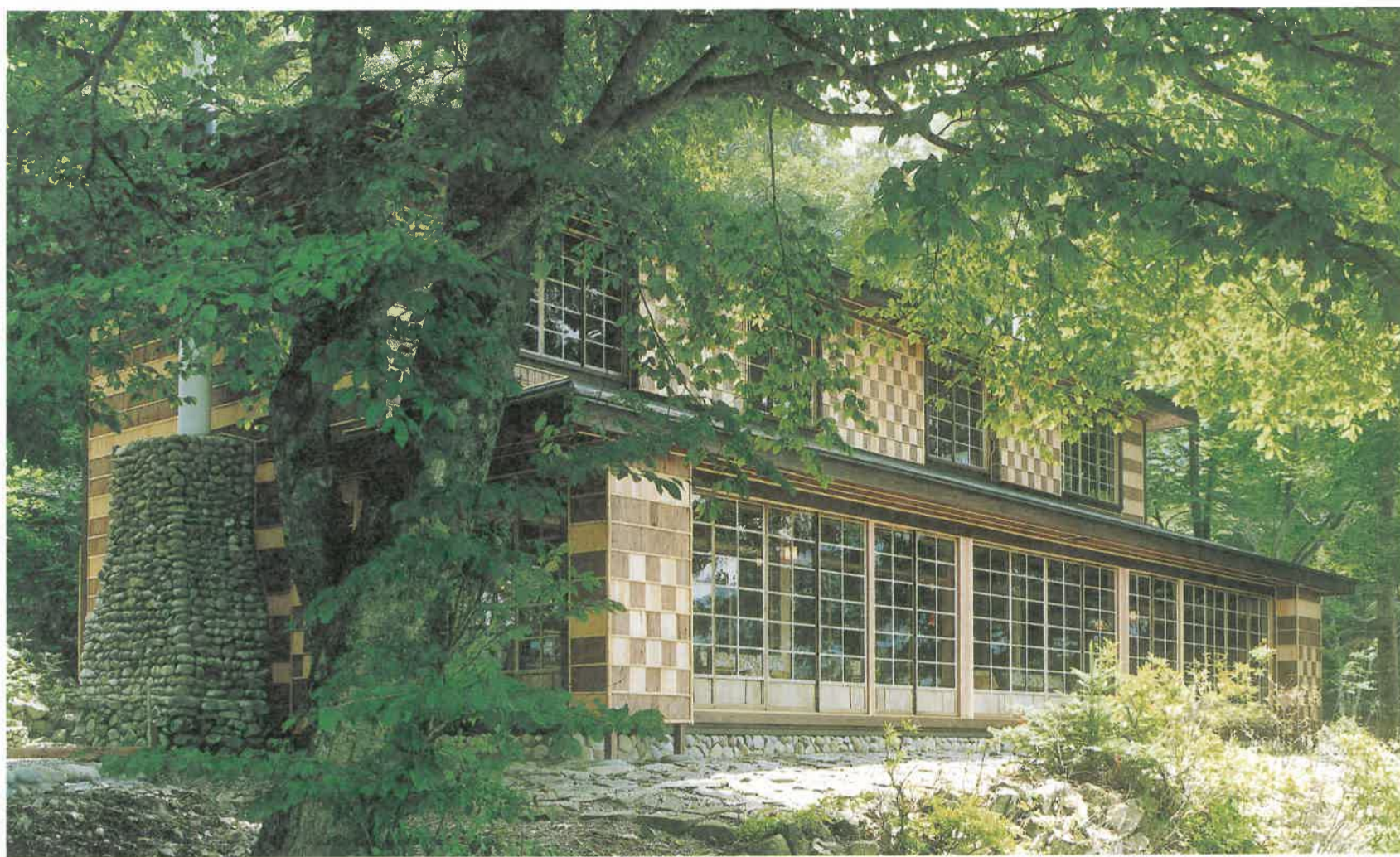
月号



編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市鳩田1-1-20

TEL 028-623-2159 FAX 028-623-2160



自然歩道の利用拠点として、「イタリア大使館別荘記念公園」が開園します

中禅寺湖畔をゆっくり歩いてみませんか

日光市中宮祠に整備中の「イタリア大使館別荘記念公園」が十月一日に開園します。この公園は、中禅寺湖を一周する自然歩道の利用拠点として平成十年から整備を進めてきたものです。中禅寺湖南岸の静寂な雰囲気と国際避暑地としての歴史に触れることのできる公園として公開されます。

旧イタリア大使館夏季別荘は、アメリカの建築家で外交官でもあったアントニン・レーモンドの設計により、昭和三年に建築されたもので、国際避暑地としての歴史の足跡を残す数少ない建築物の一つです。内装、外装ともに杉皮が施されており、自然と調和した柔らかなイメージを醸し出しています。本邸一階は、共に暖炉をもった書斎と食堂が居間を挟んでワンルームとなっており、湖畔の風景を堪能できる広縁とあわせて、大使の避暑生活を彷彿させる空間となっています。

県では、中禅寺湖畔の自然ふれあい活動の拠点として、また、国際避暑地のシンボルとして、建物の改修を行ってきました。本邸は当時の調度品もそのままに、できる限り建築当時の美しい姿に復原し、大使が大自然の中で過ごした避暑生活を体験できる場として公開します。また、平屋建ての副邸は、リゾートの原点と言われる奥日光の、歴史と文化、自然を紹介する「国際避暑地歴史館」として公開します。



●中禅寺湖畔を散策するハイカー(昨年秋撮影)

十月の中禅寺湖畔は美しい紅葉に包まれます。自然と歴史に出会える「奥日光」にぜひお出かけください。

渡辺知事にインタビュー



●県広報番組「とちぎの魅力を探る(避暑地・日光探訪)」収録風景より

●奥日光の自然を守る取組について教えてください。
奥日光は、わが国を代表する美しい景観を誇っていますが、また、野生の動植物の宝庫でもあります。この豊かな自然環境を未来に引き継ぐため、県では「てくてく歩こう奥日光」をテーマに、戦場ヶ原や小田代原、中禅寺湖周辺での植生の復元や自動車の交通規制など環境保全のための取組を進めています。また、この素晴らしい自然を満喫していただけるよう、自然ふれあい活動を推進したり、自然歩道などの整備を進めています。

●中禅寺湖畔の魅力と今後についてお聞かせください。
豊かな水、緑、そして山、こういった条件が揃っているところですね。梅雨がなく、夏は涼しい。しかも、美しい湖があります。こんな観光地は、他にないですね。明治から昭和にかけては各国の大使たちの別荘が競って建てられ、「夏は外務省が日光に移る」といわれるほど国際避暑地として栄えた歴史もあります。これを活かして、静かな、グレイドの高い避暑地としてリニューアルをしていきたいと思っています。

◇問合せ 県自然環境課

TEL 028-623-3206

新県庁舎を整備します

県では、今年三月に策定した「新県庁舎整備計画」に基づき、平成十七年度の完成を目的に、議会議事堂と行政庁舎の整備を進めています。新県庁舎を整備する必要性、県民サービスの一層の充実に向けた新しい県庁舎の機能などについてご説明します。

なぜ県庁舎をつくる必要があるの？

● 県庁本館の余命は、あと五年
現在の県庁舎は、様々な問題点を抱えています。特に本館は、昭和十三年に建てられたもので、建築後すでに六十余年が経ち、全国でもたいへん古い県庁舎です。昭和六十年に行った耐震調査の結果、適切な管理をしても全体としては約二十年（平成十七年頃まで）の余命とされました。また、この本館はもとより、第二庁舎などほかの建物も、コンクリートの劣化や外壁の剥離など、

建物全体の老朽化が進んでいます。さらに、電気機械設備などの劣化が激しく、常に修繕が欠かせない状況です。

● 業務の効率化に支障が

現在の県庁舎は、建物が九つに分散しているため、各課の位置がわかりにくいなど県民の皆さまにご不便をおかけし、また、効率的な業務執行にも支障をきたしています。

さらに、行政事務の増大やOA化の進展などにより、執務室の狭小化が著しくなっています。

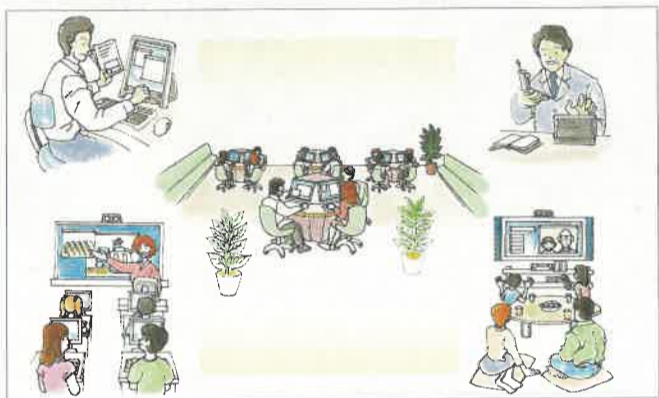
● 耐震補強ができない

議会議事堂は、老朽化に加え、耐震性に問題があります。補強が困難な構造になっています。

また、県民の皆さまが利用されるロビーや傍聴席にゆとりがなく、傍聴席へのエレベーターも設置されていません。さらに議会活動の拠点となる常任委員会室が極端に狭く、傍聴席にもこと欠いていません。



現在の県庁舎の配置状況



● 県民サービスの一層の充実を図ります

新しい県庁舎は…

● 県民サービスの一層の充実を図ります

県庁舎は、高度情報化、国際化の進展など時代の変化に対応して、県民の皆さまに多様な行政サービスを適切に提供できる機能が必要です。

このため、事務処理の迅速化や多様な行政情報をインターネットを利用して提供する「電子県庁」を実現するなど、県民サービスの一層の充実を図ります。

● 県民の安全な生活を守ります

県庁舎は、災害発生時には災害復旧活動の中心拠点として機能する必要があります。

このため、阪神・淡路大震災級の大地震が起きたときにも迅速な対応ができるよう、「防災センター」の機能の充実を図るなど、い



● 県民の安全な生活を守ります

● わかりやすく、使いやすく

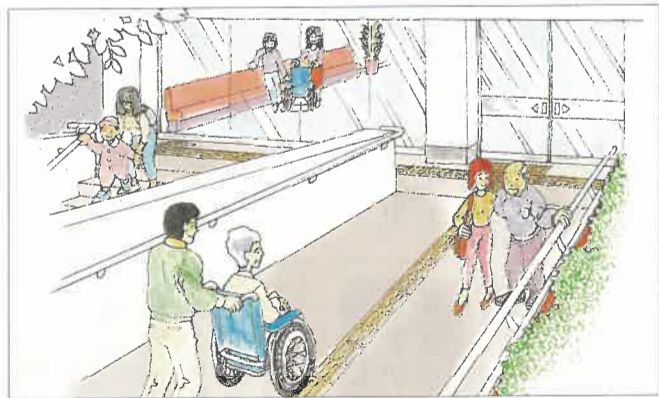
ざというときの県民の皆様の生活の安全を守ります。

県庁舎は、どなたにも「わかりやすく」、また「使いやすい」建物である必要があります。

このため、各部門や施設をわかりやすく配置したり、すべての人が使いやすいように配慮（バリアフリー化など）するとともに、県庁においてになる方々が容易にその目的を果たせるよう各種情報提供などを充実します。

一世紀以上親しまれてきた現在地に建て替えます

「新県庁舎整備計画」を策定するまでは、「修繕すればまだまだ使えるのではないか」、「違う場所に移転してはどうか」などといった議論もありました。



● わかりやすく、使いやすく



新県庁舎の配置案

平成八年に竣工した合同庁舎に続き、いよいよ残る議会議事堂と行政庁舎の整備へ

県庁舎をつくる財源は 基金を活用します

議会議事堂と行政庁舎の整備費は、設計費を含めて五〇〇億円程度と見込んでいます。

この財源は、これまで計画的に積み立ててきた県庁舎建設基金（約三五〇億円）と一部地方債を活用する予定です。

県民サービスの一層の充実に向け、二十一世紀の県政運営を担う新県庁舎の整備を進めてまいります。

◇ 問合せ 県庁舎整備室
TEL 028-623-2083

明治17年の栃木県庁



明治23年の栃木県庁



昭和13年の栃木県庁



新しい県庁舎は、長年親しまれてきた県庁舎の歴史と伝統を踏まえ、周辺の都市景観と調和した本県のシンボルにふさわしい建物となるよう整備を進めます。



行政改革を進めています

▼行政改革のこれまでの取組についてお知らせします▲

県では、厳しい経済情勢の中にあつて、これまでの蓄えである財政調整基金（平成十一年度末二三億九六〇〇万円。全国一位）などを有効に活用しながら、県民の皆さまの多様化するニーズに的確に応え、県内経済の速やかな回復はもとより、少子化対策や高齢者・障害者福祉の充実、総合的な環境対策の推進など、緊要な課題に積極的に取り組んでいます。

全庁的な事務事業の見直し

「県民のために今何をすべきか」という観点から、すべての事務事業について全庁を挙げた見直しを進めています。

今年度の予算編成においては、キヤップ制（事業分野別に歳出抑制目標を設定）や管理経費の見直しによる経費削減を図るとともに、将来の適切な財政運営を展望し、県債の適正な発行（今年度当初予算 前年度比三十七億円の減）に努めています。

進む組織のスリム化

簡素で効率的な組織体制づくりを推進するため、これまでに出納事務所の廃止や高等産業技術学校の再編、福祉事務所と保健所の統合などを行ってきました。

さらに本年四月には、農務部の組織全般にわたる改編などを実施しました。

農政の今後の展開方向を見据え、農務部本庁を大きく四つの部門（七課一室）に再編したのをはじめ、出先機関の農政事務所、農業改良普及センター、土地改良事務所（計三十一か所）を農業振興事務所（八か所）に統合しました。

このほか、本庁各課に担当グループ制を導入し、機動的、弾力的な執行体制を確保するなど、来年度の中央省庁再編に先立ち、二十一世紀にふさわしい組織体制を整えています。

また、県行政と密接な関係にある

外郭団体についても、「外郭団体の見直し方針」に基づき、積極的に見直しを図り、統合再編による外郭団体のスリム化を進めています。

一般職員を概ね一七〇人削減

平成十二年四月現在の県職員数は、教育部門や警察部門等を含め全体で二万六二五六人となっています。県民の医療・福祉の充実に向け今後予定しているがんセンターの増床、総合リハビリテーションセンター（仮称）の開設等に必要な病院関係職員の充実を図る一方、一般部門の職員数については、これまでも昭和四十五年以降職員数の定数を据え置いてきましたが、一層の適正化を図るため、「定員適正化計画」を策定し、平成十年度から三年間で、概ね一七〇人を削減することを目標に、適切な人員配置を進めています。

分権にも本県独自の対応

本年四月に「地方分権一括法」が施行されました。県民の皆さまに身近な事務は、より身近なところで処理できるよう、市町村との適切なパートナーシップの下、本県独自に、市町村への権限委譲を進めています。平成十一年度は四法令十九項目、平成十二年度は十六法令一〇八項目の権限委譲を実施しています。

県民に開かれた県政

県政の主役である県民の皆さまの意見を広く県政に反映させる



行政改革4つの視点

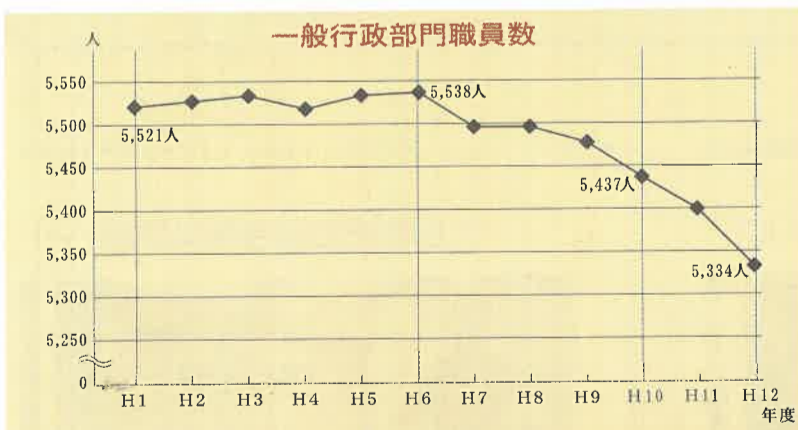
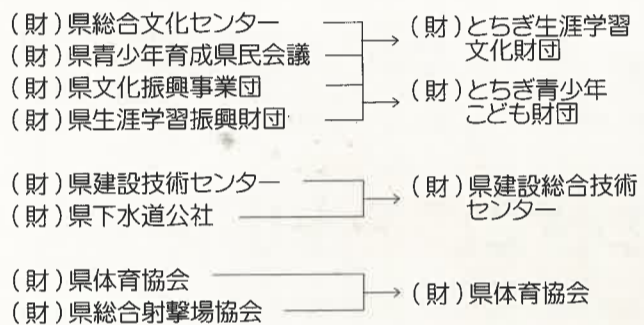
事務事業の見直し
行政組織と人事管理の見直し
分権の推進と県民に開かれた県政
事務処理の効率化と県民サービスの向上

県行政改革推進委員会

- （十二年度当初予算 措置の概要）
- 事務事業の休廃止等 五十四件
- キャップ制による経費削減 約一六七億円削減
- 内部管理経費の見直しによる節減 四十八件
- 二十七億円削減

また、施策や事務事業の成果を測定し、これを県民の皆さまにわかりやすくお示しできるように、新たに「行政評価手法」の導入や「パランスシート」の活用などの検討も進めています。

外郭団体の統合再編状況（平成12年4月）



区分	職員数(人)			比較 10年度 →12年度	定員適正化計画(10→13)	
	10年度	11年度	12年度		適正化目標	適正化のための手法
一般部門	5,437	5,399	5,334	△103	△170 ・組織機構のスリム化 ・派遣職員の削減 ・業務終了等	
教育部門	17,368	17,218	17,035	△333		
警察部門	3,216	3,219	3,216	0		
特別部門	615	611	671	56		
計	26,636	26,447	26,256	△380		

（注）職員数は常勤の職員で、休職者、派遣職員を含みます。なお、特別部門は、病院・企業庁・下水道・公営競技などに従事する職員です。



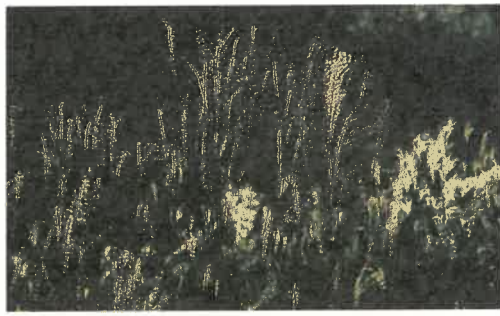
旅券の日曜日交付は全国三番目

引き続き行政改革を推進

県では、現在、二十一世紀初頭における県政運営の基本指針となる新しい総合計画「とちぎ21世紀プラン」を策定しています。この計画の着実かつ確実な推進を図り、二〇〇万県民の皆さまの豊かな暮らしが実現できるよう、全庁を挙げて、行政改革に取り組んでいきます。

問合せ 県人事課
TEL 028-623-2039

マロニエ ガイト



花 歳 時 記

ススキ (イネ科)

日当たりの良い荒れ地に生える代表的な植物です。漢字で書けば「枯尾花」または「芒」「薄」とも。どれも言い得て妙の表現に、考案者のセンスが光ります。観賞する時は夕方の太陽を背景に。花穂が光を含んで黄金色の温もりを感じ取ることができるでしょう。

県子ども総合科学館

●バラエティー・サイエンス ●9月23日(土)・24日(日)午前10時30分・午後1時30分・3時30分
●気軽にできる工作や楽しい実験を行います

●プラネタリウム新番組上映中 ●年少向け番組「おつきさまのかお」月にはいったい誰が住んでいるのでしょうか?ロケットに乗り、月の世界に行ってみよう ●一般向け番組「カレンダーの秘密」うるう年や秋分の日決め方、2月がなぜ他の月より日数が少ないのか等について、秋の美しい星空を交えて紹介します

●問合せ ☎028-659-5555

県立美術館

●20世紀最大の風刺画家 ジョージ・グロス展 ●ベルリンとニューヨークを舞台に、社会の矛盾を絵筆で告発した作品展

●9月24日(日)まで
●問合せ ☎028-621-3566

●第54回栃木県芸術祭美術展-洋画・彫塑・工芸部門- ●10月7日(土)~10月18日(水)
●問合せ 栃木県文化協会 ☎028-643-5288



ジョージ・グロス
緑衣のロッセ 1926年

県立博物館

●第68回企画展-文化財保護法50年記念-「掘り出された『文字』」 ●10月8日(日)から



黒墨土器「饒」

●講座「下野民話語り」 ●10月15日(日) ●電話申込み ●講座・見学会「下野の街道と宿場を訪ねて」 ●10月8日(日)・15日(日) ●見学会は鹿沼市現地集合 ●申込み 9月27日(水)まで(必着)に往復ハガキで(宇都宮市陸町2-2)

●問合せ ☎028-634-1312

県総合文化センター

●マルタ・アルゲリッチ&ヨーロッパ室内管弦楽団 ●10月27日(金)午後7時~ ●入場券残りわずか!

●栃木県総合文化センター開館10周年記念事業No.1「レニングラード国立バレエ『眠りの森の美女』」 ●平成13年1月27日(土)午後5時~ ●9月16日(土)発売開始!

●問合せ ☎028-643-1010



レニングラード国立バレエ
「眠りの森の美女」

県政



●秋の交通安全県民総ぐるみ運動

●9月21日(木)~30日(土) ●運動の重点①高齢者の交通事故防止②チャイルドシートとシートベルトの着用の徹底③交差点とカーブの交通事故防止 ●問合せ 県交通対策課 ☎028-623-2183

催 し

●2001とちぎ求人企業合同面接会

●10月2日(月)午後1時~4時 ●会場 コンセール(宇都宮市) ●対象 来春大学・短大等卒業予定者 ●参加予定企業 県内求人企業約50社 ●問合せ 県労政課 ☎028-623-3224

●「とちぎ住宅フェア2000」の開催

●10月6日(金)~8日(日)午前10時~午後5時(最終日は午後4時まで) ●会場 マロニエプラザ(宇都宮市) ●展示内容 新築、増改築、宅地分譲に関する展示、他「地場産フェア」も同時開催 ●問合せ 県住宅課 ☎028-623-2483

●障害者・高齢者雇用促進大会

●10月11日(水)午後1時30分~4時 ●会場 二荒山会館(宇都宮市) ●内容 表彰式、講演「どうなるこれからの日本」若林正人氏 ●問合せ 栃木労働局職業対策課 ☎028-610-3557

講 座

●パルティの講座

◎パソコン基礎講座(女性対象) ●10月11日(水)~11月10日(金)の火~金曜日の18日間、(午前の部)午前9時30分~正午、(午後の部)午後1時~3時30分 ●定員 20名 ●受講料 16,000円 ●申込み 10月4日(水)午後1時~1時30分に本人が直接来所、抽選

◎パソコン夜間講座(男女対象) ●10月6日(金)~11月1日(水)の水・金曜日の8日間、午後6時~8時30分 ●定員 20名 ●受講料 10,000円 ●申込み 10月4日(水)午後6時~6時30分に本人が直接来所、抽選

●問合せ とちぎ女性センター(宇都宮市野沢町4-1) ☎028-665-7706

●働く女性のためのセミナー

●10月6日(金)午後1時~ ●会場 いわいや(大田原市) ●講演「寝たきり夫人の介護体験記」、江村利雄氏(前高槻市長) ●申込み 9月29日(金)までに電話かFAXで ●大田原労政事務所 ☎0287-22-4158、FAX0287-22-5103

募 集

●県立がんセンターレジデント募集

●応募資格 2年以上の臨床経験をもつ医師 ●研修期間 平成13年6月から原則として3年間 ●研修内容 内科系・外科系・放射線治療・臨床病理より選択 ●採用人員 8名 ●受付期間 10月2日(月)~13年1月12日(金) ●問合せ 県立がんセンター総務課情報管理担当 ☎028-658-5151(内線2201)

●「やすらぎの栃木路」観光絵画展作品募集

●募集区分 小・中学生の部、一般の部(油彩・日本画、水彩・パステル・版画等) ●応募規定

「栃木県の観光」を題材としたもの ● 出展希望の方は、12月25日(月)までに電話かFAXで住所・氏名・電話番号・部門をお知らせください ● 問合せ 「やすらぎの栃木路」共同宣伝協議会事務局(県観光課内) ☎028-623-3305、FAX028-623-3306

●「君たちに言いたい」出演者募集

●青少年に向けて、日ごろ思っていることや伝えたいことなどを発表してください ● とちぎテレビで

放映予定 ● 応募方法 10月31日(火)までに、住所、氏名、年齢、電話番号、発表の要旨を明記し、ハガキ、FAX、Eメールで ● 応募先・問合せ 県女性青少年課(宇都宮市埴田1-1-20) ☎028-623-3075、FAX028-623-3150

●県南高等看護専門学校入学生(推薦)募集

●試験日 10月24日(火) ●受付期間 10月2日(月)~6日(金) ●問合せ 同学院(栃木市) ☎0282-27-7888

とちぎに国会を!!

●国会等移転Q&A 皆さまからお寄せいただいた質問にお答えします

Q) 今の東京と同じような過密都市になりませんか?

A) 国会等移転とは、国会・行政・司法の中核機能の移転であり、東京の経済や文化の機能まで移転して行くものではありません。また、移転される首都機能は、人口10万人程度の国会都市を中心に、数万人程度の小都市群が自然豊かな数万ヘクタールの圏域に分散して配置されます。

那須地域を含む栃木・福島地域には、既存の個性豊かな小都市群があり、すべて新たな開発によらなくても、ある程度の機能を受け入れられる体力が備わっています。そのため、現在の東京とは全く異なる、21世紀のモデルとなる自然環境と共生したコンパクトな都市が実現できると考えます。



●県が提案する那須地域における国政都市のイメージ

◇問合せ 県企画調整課 国会等移転対策室 ☎028-623-2209

トピックス

…青木別邸 重文指定の記念式典…



●渡辺知事らが記念碑を除幕

青木周蔵那須別邸が国の重要文化財に指定されたことを記念して、8月10日、記念式典が行われました。

青木別邸は明治21年の建築。洋風の木構造の架構法を採用し、外壁に鱗形のスレートを用いるなど、歴史的・文化的価値の高い建物です。平成10年3月に復原され、一般に公開されています。(道の駅「明治の森・黒磯」内)

◇問合せ 県道路維持課 ☎028-623-2424

…低公害バス利用者 50万人に…



●50万人到達記念セレモニー

8月12日、奥日光を走る低公害バスの利用者が50万人に到達し、記念セレモニーが行われました。

奥日光では、小田代原や西ノ湖、千手ヶ浜等の豊かで美しい自然環境を保全するため、平成5年から交通規制が行われており、低公害バスは、その代替交通手段として、多くの観光客やハイカーに利用されています。

◇問合せ 日光自然博物館 ☎0288-55-0880

……大田原市で総合防災訓練……



●応急処置の説明を受ける渡辺知事

8月27日、大田原市蛇尾川緑地公園で栃木県・大田原市総合防災訓練が開催されました。

地震と風水害を想定し、救助・消火・水防訓練など約40項目に及ぶ訓練が行われました。那須水害からちょうど2年が経過したこの日、約1,500名の参加者は本番さながらに訓練を行いました。

◇問合せ 県消防防災課 ☎028-623-2136